

西小は 大きな 家族

# Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 11 月 28 日 (木) No.42

発行人

スタッドレスに交換した。よし、雪  
よいつでもこいっ！！の川崎先生。

## ★雨の中の夜祭は・・・11/22 (金) ～23 日 (土) ★

何日か前の天気予報でも、この日は午後から雨。おーっ、なんてこったい。気温もかなり低くなりそう。ぐお～、まじヤバいっす・・・で、当日はやっぱり雨☔。

実際に夜はどうなるのだろうか？とっていたけど、それでも穂見神社には、例年通り駐車場待ちの車の渋滞が起きるくらいたくさんの人が押し掛けた。川崎も上下カッパを着込んで、巫女の舞を見る気満々、子ぎつねのモチを拾う気満々で参加。巫女の舞は、何度見ても清らかな雰囲気、この祭りを凛と引き締めている。伝統を引き継ぐ太々神楽も、歴史の重み、深さを感じさせてくれる。この場所にいることがなにか別世界にいるような感じだ。

さていよいよ狐の舞。他の保護者と一緒に待ち構える。狐たちは出てくる前から小学生とコミュニケーション取っていて、神聖な生き物だけど何ともフレンドリー。いよいよモチ投げが始まった。が、が、が、場所が悪いのか一向にモチが拾えない。ふえーん(T\_T)と思っていた矢先、一匹の子ぎつねと目が合った(気がした)。すると彼(?)は川崎の正面に投げしてくれた(後で聞いたら、川崎とわかって投げしてくれたとのこと)。拾えたのはこの一個だけ(T\_T)。するとその後出会った子どもたちが次々と”これあげる”とモチをくれるのだ。な、なんて優しい西小の子どもたち(T\_T)。ありがとう、ありがとう<m(\_)>。こうして夜は更けて行った。

## ◆そしてまたまた雑感★

・4 時と言う中途半端な時間に入ったあるラーメン屋さん。朝ごはんと昼ごはんとは夕ご飯が一緒でした(^\_^;)。ここで”おまちどうさま”と差し出してくれた人は、なんと3年生女の子のお母さん。お互いにびっくり(@\_@;)。そしていろいろあざーっす<m(\_)>。もうもう超満腹でした。

・豊小の近くの公民館。ここで「親子三世代祭り」がおこなわれ、川崎もちょっと見学に。すると背後から”校長先生～”という声。振り向くと4年生女の子たちとそのお母さん。興味をもって遊びに来てくれたみたい。手作り感満載のお祭りだけど、それを楽しんでくれる子どもたちがいるからこそできる。ありがたいありがたい。協力して下さった西地区の関係者の皆様もお疲れ様でした<m(\_)>。

・とても寒い日の中休み。4年生たちが男女交じって志村 t とボール投げをして遊んでいる。その脇では5年生の女の子二人がバレーボールでトスをしている。他方では6年生～2年生まで交じってサッカーだ。6年生の中に2年生だから、遠くから見ると身長差はスゴイ。でも一緒になって走り回っている。おや、その中の一人は長ぐつだ。歓声や笑い声が響く校庭。目を細めて見る自分は室内でぬくぬくと。くくっ、歳取ったな。

・「校長先生、この形何かわかりますか？」と指でピースサインを出しながら5年生の女の子たちが聞いてくる。どうやら JFE スチールへ見学に行き学んできたようだ。「え～っ、わからん～(-\_-;)」。「V (ブイ) を意味するんですよ」「???」。V (ブイ) と言って思い出すのは”サインはV (ブイ)”しかない・・・(古い(-\_-))。悩んでいると教えてくれた。JFE などの製鉄会社でのVサインは、「安全」を表すものだという。確かに製鉄所では一歩間違えると大参事になるので、Vサインを出し合って、安全をみんなで意識しているということなのだろう。勉強になるなあ～(^)v